

昭和の大合併で姿を消した公共施設

味舌中学校跡

1. 名称

ましたちようりつましたちゅうがっこう
味舌町立味舌中学校

2. 所在地

摂津市千里丘3丁目8-47
千里丘公民館あたり

3. 所在期間

1951年（昭和26年）～
1956年（昭和31年）

4. 現在

千里丘公民館、エネゲート敷地、
千里丘保育所跡地は住宅地

5. 沿革

1947年（昭和22年）組合立^{ようせい}養成中学（茨木市）校内で^{ました}味舌中学校
が発足。

1950年（昭和25年）組合立から独立し味舌町立味舌中学校として
味舌小学校千里丘分校に併設される

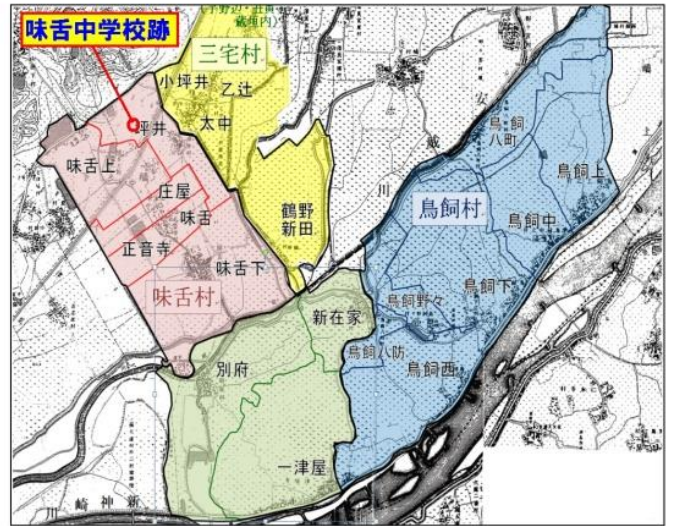
1951年（昭和26年）7月に新築味舌中学校が完成

1956年（昭和31年）9月30日 三島町制施行^{ました}（味舌町・味生村・
^{とりかい}鳥飼村合併）により三島町立味舌中学校となる

1960年（昭和35年）三島中学校新築が始まり、三島中学校味舌分教場となる

1960年（昭和35年）4月12日、味舌分教場
校舎火災 以降千里丘小学校等で授業実施

1961年（昭和36年）6月 三島中学校校舎完成



参加者記念集合写真(2016年12月13日)



歴史指標設置セレモニー（2016年12月13日）





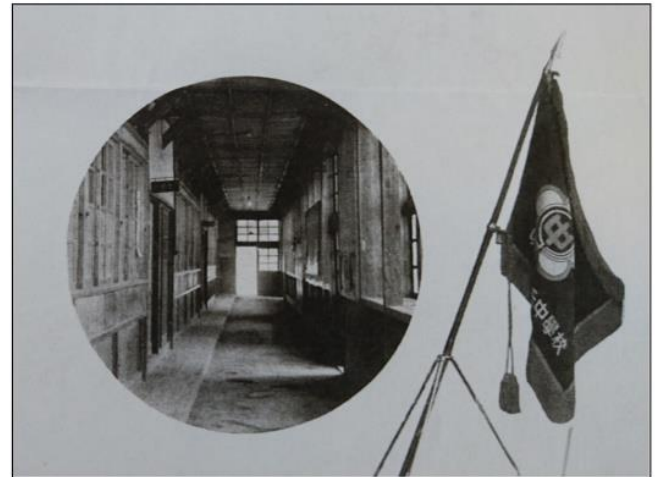
味舌中学校跡地に建つ千里丘公民館



味舌中学校の正門



運動場から町立公民館と兼用の講堂をのぞむ



校舎の廊下と校旗



運動場から校舎や町立公民館と兼用の講堂をのぞむ

昭和22年4月、学校組合立の養精^{ようせい}中学校（茨木市）に生徒を通学させていたが、25年3月末で分離独立した。25年4月1日に町制を施行したので、味舌中学校は町立となり、味舌小学校千里丘分校に併設された。26年7月に新築独立校舎ができたので移転し、専任校長も赴任^{せんじん}すようになった。現在の千里丘公民館・エネゲートの空地の所にあった。31年9月30日、三島町になったので味舌^{ました}町立から三島^{みしま}町立へ。35年4月1日に鳥飼^{とりかい}・味生^{あじふ}・味舌^{ました}の3中学校が統合したので三島中学校味舌分教場となる。4月12日に校舎を焼失、しばらく千里丘小学校に移ったが、グラウンドにプレハブ校舎が完成してから帰った。三島中学校の校舎が完成する36年6月まで続いた。

※公立の新制中学の発足が戦後の混乱期だったので、私学へ進む生徒は多かった。

☆薫英^{くんえい}学園は昭和22年4月に中学校を併設した。41年に中学部を廃止した。

☆浪速^{なにわ}工業学校も昭和22年4月に中学校を併設した。

☆昭和21年3月設立の千里丘学園高等女学院は22年4月の新学制施行にあたり、旧高女1年終了者を新制中学2年生として再発足したが、資金ぐりが思うにまかせず、廃校となった。24年9月に校舎を味舌村に売り渡した。（現在の千里丘小学校）